

愛媛大学法文学部附属 四国遍路・世界の巡礼研究センター 第4回公開研究会

四国遍路を開創したとされる弘法大師空海。空海の時代を読み解くことは、四国遍路の原点を見つめることになります。弘仁年間の布教活動を再検討して四国・満濃池の修築理由を探ります。その後、八十八の札所も成立した江戸時代には、僧侶や聖だけでなく、多くの民衆が遍路を行い始めます。遍路の動機や実態、さらに遍路をとりまく地域社会についても検討してみます。

▲満濃池

2018年7月28日(土) 13:30～16:30

Hiroshi TERAUCHI

弘法大師空海と満濃池修築

寺内 浩
愛媛大学教授



▲弘法大師行状絵断簡 嵯峨天皇の病を治す図
(当センター蔵)

Tetsu MACHIDA

遍路をめぐる3つの肖像
—近世後期の四国遍路からみた民衆世界—

町田 哲
鳴門教育大学准教授



▲阿淡孝子伝 北浜浦善蔵 (徳島県立文書館蔵)

Research Center for
the Shikoku Henro and Pilgrimages of the World

主催

愛媛大学法文学部附属
四国遍路・世界の巡礼研究センター

会場

愛媛大学法文学部本館8階大会議室

*入場無料(事前の予約はいりません)

*駐車スペースがありませんので、公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ

愛媛大学法文学部附属
四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577 松山市文京町3番地

TEL: 089-927-9312 <http://henro.ll.ehime-u.ac.jp/>

E-mail: henro.center.ehime@gmail.com

